

報道関係各位

2024年4月2日
株式会社プラットフォーム

**「デジタルサイネージの運用特化型企业として正会員へ」
プラットフォーム、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム加盟**

放送・配信メディア企業の運用サポートを手がける株式会社プラットフォーム(東京都江東区東陽7-5-8 代表取締役社長:村松 俊昭)は、拡大を続けるデジタルサイネージの運用支援をより強化するため、2024年4月から一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム(DSC)に正会員として加盟しました。

2021年8月に約100面の受託から開始した当社のデジタルサイネージの運用代行は、開始から2年半の2024年3月末時点で約12,800面を超え、放送・配信事業者向け支援に次ぐ業務領域として急拡大しています。当社では、デジタルサイネージ業界において当社の特長に理解を深めてもらいつつ、運用代行の需要に応じやすくするために、2024年4月からDSCの正会員として加盟を申請し、承認されました。

2024年4月1日現在、DSCは87の事業者が加盟しており、媒体運営企業、広告代理店に加え、ハードメーカー、ソフトメーカーなど、デジタルサイネージに関わる企業が名を連ねています。ただ、その中で運用代行業務だけに特化した当社はユニークであり、今後DSC加盟各社にとっても柔軟な形でビジネス検討を推進できる存在になり得ると考えています。

当社が手掛けるデジタルサイネージの運用代行業務は、広告が申し込まれる際の意匠審査、編成作成、素材チェック、システム登録と放映に至るまでの各プロセスのほか、放映中の素材やパネル表示に問題がないかどうかを遠隔で監視する業務もあり、媒体運営者の広告営業を支援しつつ、ルーティンワークを代行することで運営を効率化できるという特長があります。また、特定のシステムに左右されることがなく、現在使用されているシステムをそのまま遠隔操作代行するので、導入までのプロセスや費用面を圧縮できるメリットもあります。さらに、監視を中心とした業務は夜間や休日など通常営業時間外にもオプション対応しており、放送や配信業務でスタンバイしている24時間運用担当のリソースを有効活用できます。

新型コロナの第5類移行から約1年で人流も戻り、街頭や大型商業施設でのデジタルサイネージ運用も多様化と複雑化が進んでいます。当社はより柔軟な体制でデジタルサイネージ運用支援業務を拡大しつつ、DSC正会員として業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
<https://digital-signage.jp/>

■本件に関するお問い合わせ

株式会社プラットフォーム オペレーション営業部 川北(かわきた)
Tel.:050-3538-1820 E-Mail : sales@plat.works